



証券コード 7643

いい街 いい人 いい笑顔

Fresh & Heart

ダイイチ



第70期 年次報告書

2023年10月1日～2024年9月30日



いい街 いい人 いい笑顔
フレッシュ&ハート ダイイチ





代表取締役社長

若園 清

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は今年で創業66周年を迎え、札幌商勢圏への初出店（八軒店）から20周年となりました。

これもひとえに株主様をはじめとする、多くの皆様のご愛顧とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

これからも、食のライフラインとしての社会的使命を心に刻み、社是である「お客様の普段の食生活のお役に立つ」を念頭に、地域に根差したスーパーマーケットであり続けるために、役職員一丸となって取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。

ここに当社第70期（2023年10月1日から2024年9月30日まで）の営業概況をご報告申し上げます。

■ 当期の決算概要について

スーパーマーケット業界におきましては、長引く物価高により、お客様の「節約志向」、「選別志向」が一層強まっていることに加え、人件費などの各種経費の高騰、業種・業態の垣根を越えた競争が更に激化しつつあるなど、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社は、2023年11月に公表しました中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）に基づき、基本方針である『普段の食生活を通じて、地域を笑顔に』の実現に向けて、「商品力・販売力の向上」、「お客様利便性の向上」、「労働環境の改善」、「環境保全・地域活性化」、「効率化の推進」、「株主還元強化」などへの取り組みをスタートしました。初年度である2024年9月期に関しましては、①コンプライアンスの徹底とガバナンス強化、②出店戦略推進、③競合店対策強化、④商品力強化（コア商品の開発推進等）、⑤セブン&アイ・ホールディングスとの連携強化、⑥人財の増強（採用・育成強化、労働環境改善）、⑦効率化・オペレーションコストの削減、⑧社会貢献、地域貢献を通じた地域密着型企業の深化を重点実施事項として取り組んでまいりました。

「出店戦略」

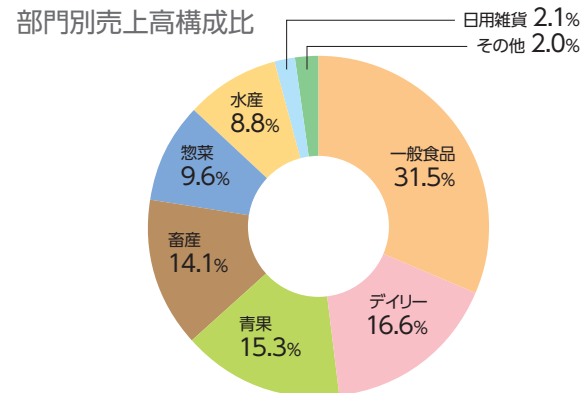
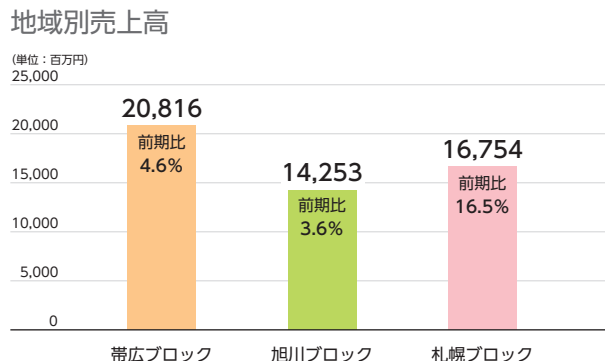
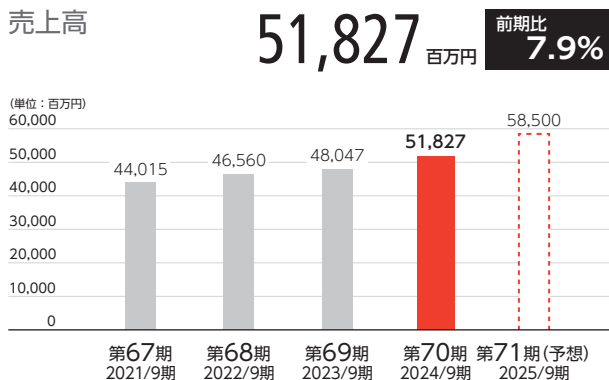
当事業年度における主な成果としましては、『出店戦略推進』への取り組みとして、2023年11月30日に札幌市中心部に「すすきの店」をオープンし、2024年9月27日には株式会社イトーヨーカ堂帯広店の食品販売部門を継承した「稲田店」をオープンいたしました。これらの結果、当事業年度末現在の店舗数は、帯広ブロック10店舗、旭川ブロック7店舗、札幌ブロックは7店舗となり、全ブロック合計で24店舗となりました。

また、第71期につきましては2024年11月8日にはラピダス進出に伴い大きな発展が期待されている千歳市に「千歳店」をオープンしたほか、2025年春には株式会社イトーヨーカ堂アリオ札幌店の食品販売部門を継承した店舗のオープンを予定するなど、当初計画を上回るペースでの出店を進めております。

「商品戦略」

『商品力強化』への取り組みとしましては、地域企業等とコラボした商品を11アイテム開発したほか、『セブン&アイ・ホールディングスとの連携強化』への取り組みと合わせ、プライベートブランド商品セブンプレミアム商品の取扱数を「稲田店」のオープン時に、従来から約100アイテム増加し、合計約1,350アイテムとなりました。

決算ハイライト



【社会貢献・地域貢献】

『社会貢献、地域貢献を通じた地域密着型企業の深化』への取り組みとして、「ノーマライゼーションイベント」や、地元小学校と連携した「食育イベント」、「ノウフク（農業＋福祉）イベント」を開催したほか、節電、節水設備の導入など環境保全にも取り組みました。

また、日頃のお買い物にご不便されている方々に商品をお届けする「移動スーパーとくし丸」事業は、社会貢献及び地域貢献の一環として取り組んでおり、当事業年度末現在で16台が稼働しております。今後も地域のニーズに積極的に対応すべく、増車を検討してまいります。

【第70期業績について】

当事業年度における売上高は518億27百万円（前期比7.9%増）、営業利益は19億14百万円（前期比7.0%増）、経営利益は19億58百万円、（前期比7.6%増）、当期純利益は14億24百万円（前期比15.4%増）となりました。

地域別売上高につきましては、帯広ブロックは208億16百万円（前期比4.6%増）、旭川ブロックは142億53百万円（前期比3.6%増）、札幌ブロックは、2023年11月にオープンした「すすきの店」の効果等により167億54百万円（前期比16.5%増）となりました。

■ 配当方針について

当社は株主の皆様に対する利益還元を重要課題の一つとして認識しております。財務体質の強化と安定的

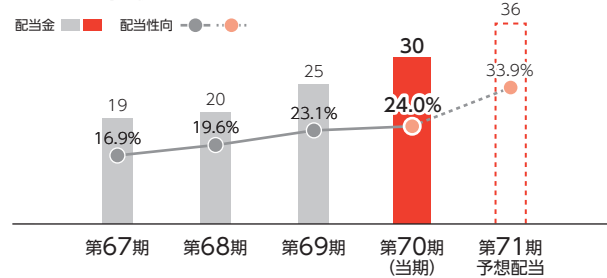
な経営基盤の確保に努めるとともに、長期的に安定した配当の継続を基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、上記基本方針に加え、東京証券取引所から求められている「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」として、2024年11月14日開催の取締役会において、前期より5円の増配を実施する方針を決議し、2024年12月25日開催予定の定時株主総会において、1株当たり普通配当30円とする予定であります。

なお、内部留保資金につきましては、新店舗の建設や既存店舗の改装、人材育成の教育投資、システム投資等の有効投資を実施し、なお一層の収益力の強化を図り、企業価値の向上に努めてまいります。

また、株主の皆様への利益還元への機会の充実を図ることを目的に、2024年11月14日開催の取締役会において、来期より中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の推移



■ 今後の見通し

スーパーマーケット業界におきましては、物価の高止まり状況の長期化により、「節約志向」、「選別志向」が一層強まることが見込まれます。また、企業間の競争が業種・業態を越えて更に激化することに加え、人件費や水道光熱費などの各種経費の更なる増加が見込まれるなど、経営環境は厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況の下、当社は、社是である「お客様の普段の食生活のお役に立つ」の精神に立ち返り、「普段の食生活を通じて、地域を笑顔に」を基本方針とする中期経営計画に基づき、2年目である第71期に関しては、①コンプライアンスの徹底、②出店戦略の推進、③競合店対策、既存店の活性化、商品力・商品化技術強化、④ガバナンス体制強化（業務改善、組織の活性化、人材確保と教育の実践）、⑤社会貢献を重点実施事項として、取り組んでまいります。

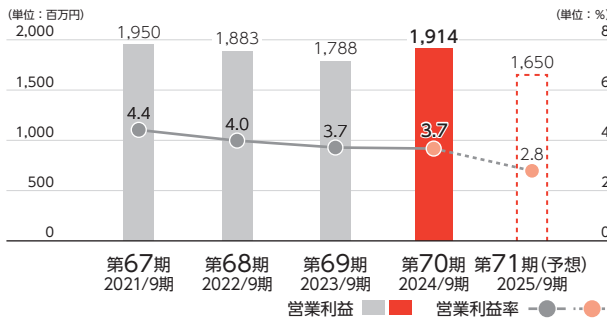
■ 次期の見通しについて

2025年9月期業績予想

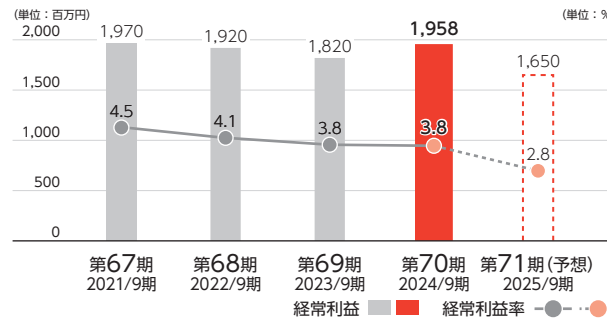
売上高	585億円	(前期比 12.9%)
営業利益	16億50百万円	(前期比△13.8%)
経常利益	16億50百万円	(前期比△15.7%)
当期純利益	12億円	(前期比△15.8%)

決算ハイライト

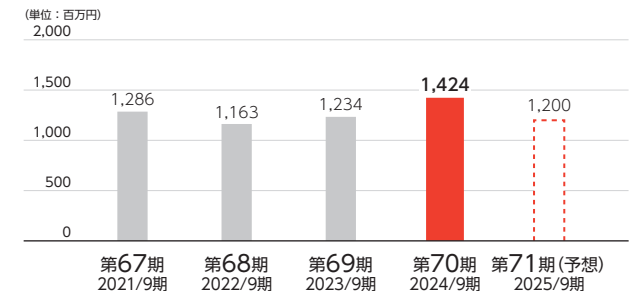
営業利益／営業利益率 **1,914**百万円 **7.0%** (前期比)



経常利益／経常利益率 **1,958**百万円 **7.6%** (前期比)



当期純利益 **1,424**百万円 **15.4%** (前期比)



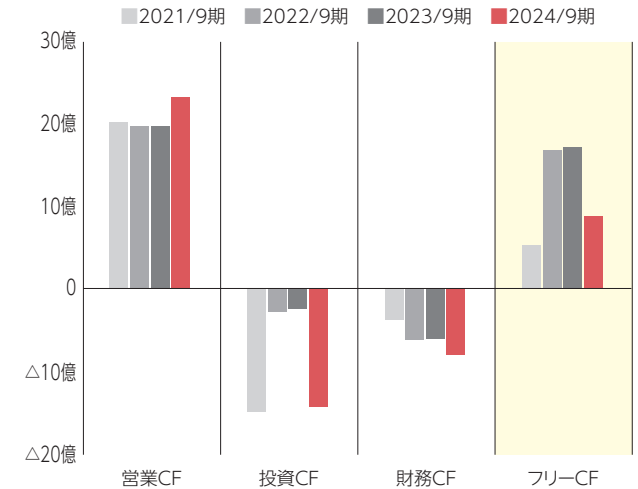
財務諸表 (概要)

貸借対照表 (概要)

(単位：百万円)

前々期末 (2022年9月30日)		前期末 (2023年9月30日)		当期末 (2024年9月30日)	
資産合計	22,277	資産合計	23,483	資産合計	26,200
負債純資産合計	22,277	負債純資産合計	23,483	負債純資産合計	26,200
現金及び預金 6,703	流動資産 8,920	現金及び預金 7,781	流動資産 10,192	現金及び預金 7,939	流動資産 10,673
商品及び製品 988		商品及び製品 1,087		商品及び製品 1,136	
他 1,229		他 1,323		他 1,598	
有形固定資産 11,719	固定資産 13,357	有形固定資産 11,489	固定資産 13,291	有形固定資産 13,193	固定資産 15,526
無形固定資産 23		無形固定資産 72		無形固定資産 105	
投資 その他の資産 1,614		投資 その他の資産 1,729		投資 その他の資産 2,226	
負債合計	7,446	負債合計	7,629	負債合計	9,351
流動負債 5,543	純資産 合計 14,830	流動負債 5,593	純資産 合計 15,854	流動負債 6,156	純資産 合計 16,849
固定負債 1,903		固定負債 2,035		固定負債 3,194	
株主資本 14,846	株主資本 14,846	株主資本 15,852	株主資本 15,852	株主資本 16,847	株主資本 16,847
評価・換算 差額等 △15		評価・換算 差額等 1		評価・換算 差額等 1	

キャッシュ・フロー (CF)



決算期	営業CF	投資CF	財務CF	現金期末 残高	フリーCF
2024年 9月期	2,306	△1,437	△810	7,305	869
2023年 9月期	1,954	△244	△615	7,247	1,710
2022年 9月期	1,958	△290	△622	6,152	1,668
2021年 9月期	2,010	△1,495	△383	5,106	515

(単位：百万円)

(資産)

前事業年度末に比べ27億16百万円増加の262億円
流動資産106億73百万円
固定資産155億26百万円

(負債)

前事業年度末に比べ17億21百万円増加の93億51百万円
流動負債61億56百万円
固定負債31億94百万円

(純資産)

前事業年度末に比べ9億94百万円増加の168億49百万円
当期純利益14億24百万円の計上、剰余金の配当2億85
百万円の結果、利益剰余金が11億39百万円増加したこ
と、及び自己株式の取得1億43百万円によるものであり
ます。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は23億6百万円 (対前期
比18.0%増)

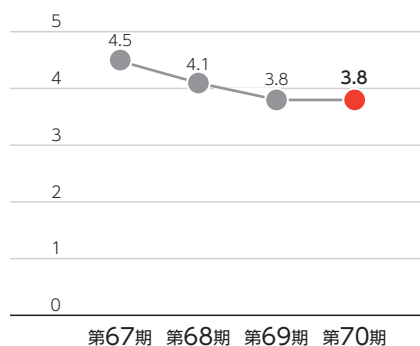
(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、14億37百万円 (対前
期比488.4%増)

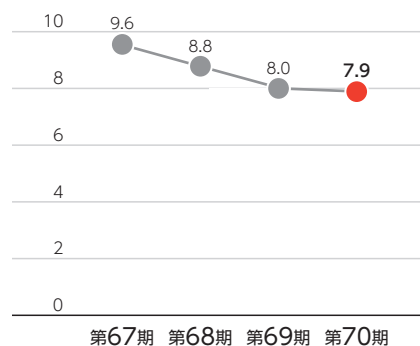
(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、8億10百万円 (対前
期比31.6%増)

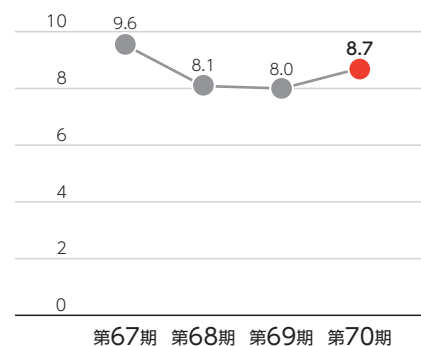
■ 売上高経常利益率 (単位：%)



■ 総資産経常利益率 (単位：%)

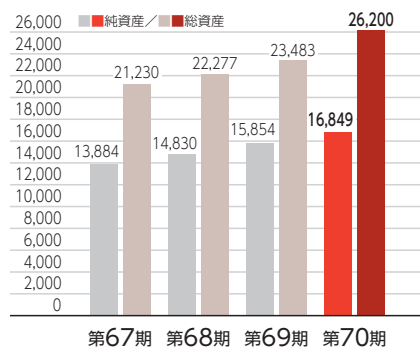


■ 自己資本当期純利益率 (ROE) (単位：%)

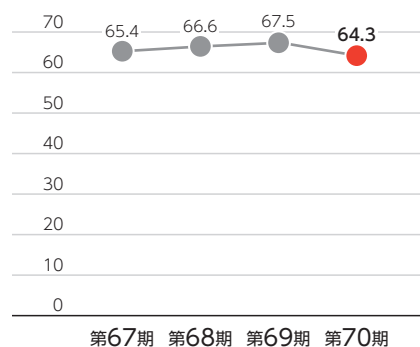


	第67期 2021年9月期	第68期 2022年9月期	第69期 2023年9月期	第70期 2024年9月期
売上高経常利益率 (%)	4.5	4.1	3.8	3.8
総資産経常利益率 (%)	9.6	8.8	8.0	7.9
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	9.6	8.1	8.0	8.7

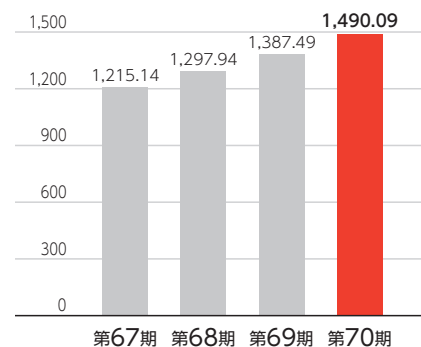
■ 純資産／総資産 (単位：百万円)



■ 自己資本比率 (単位：%)

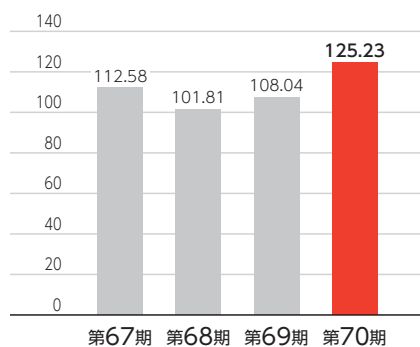


■ 1株当たり純資産額 (単位：円)

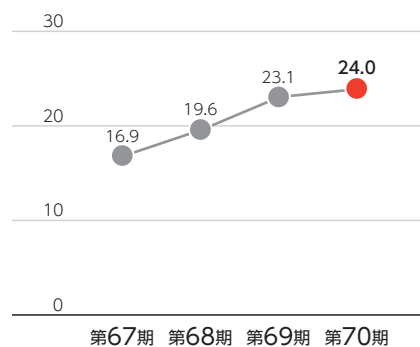


	第67期 2021年9月期	第68期 2022年9月期	第69期 2023年9月期	第70期 2024年9月期
純資産 (百万円)	13,884	14,830	15,854	16,849
総資産 (百万円)	21,230	22,277	23,483	26,200
自己資本比率 (%)	65.4	66.6	67.5	64.3
1株当たり純資産額 (円)	1,215.14	1,297.94	1,387.49	1,490.09

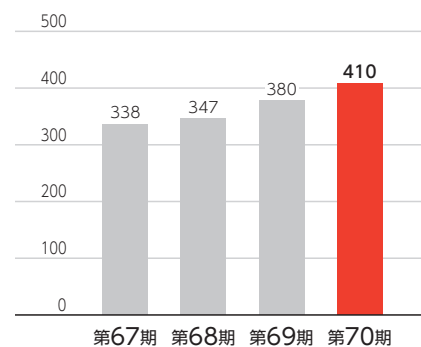
■ 1株当たり当期純利益 (単位：円)



■ 配当性向 (単位：%)



■ 従業員数 (単位：人)



	第67期 2021年9月期	第68期 2022年9月期	第69期 2023年9月期	第70期 2024年9月期
1株当たり当期純利益 (円)	112.58	101.81	108.04	125.23
配当性向 (%)	16.9	19.6	23.1	24.0
従業員数 (人)	338 (1,084)	347 (1,123)	380 (1,126)	410 (1,206)

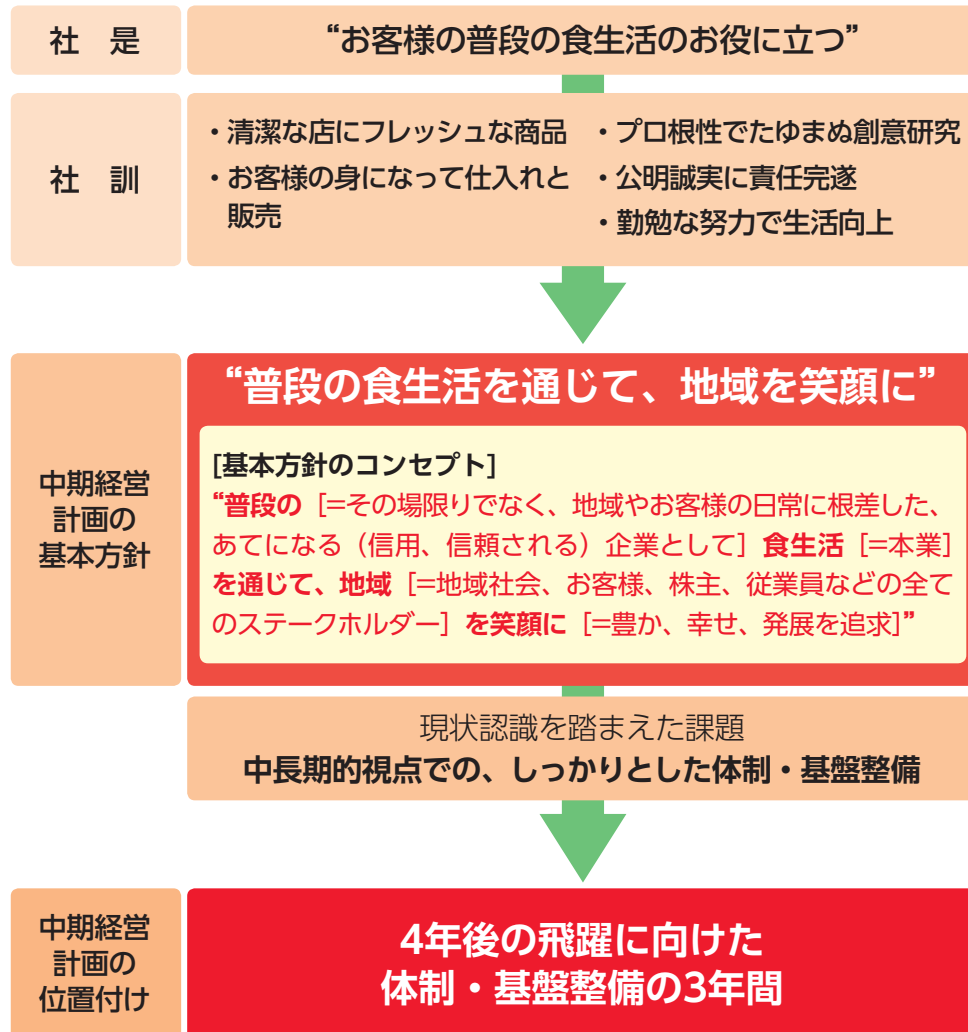
※ () 内はパートナー社員の、月平均人数 (8時間換算) です。

中期経営計画の戦略

株式会社 **ガイイチ** 中期経営計画

2023年11月10日に公表しました中期経営計画について、KPIの進捗状況やそれを踏まえてのKPIの見直し内容、分野毎の課題等への取り組み状況を更新いたしました。

中期経営計画の基本方針



1. KPIの進捗状況と一部上方修正について

KPI	売上高	来店客数	当期純利益	投資+財務キャッシュ・フロー対営業キャッシュ・フロー比率	CO ₂ 排出量削減
2024年9月期実績 (進捗状況評価)	518億円 (○)	2,005万人 (○)	1,424百万円 (○)	97.4% (○)	0.228 t-co ₂ /m ² (△)
2026年9月期目標 (当初)	<u>550億円</u>	<u>2,100万人</u>	<u>1,250百万円</u>	計画期間中 <u>60%超</u>	売場面積当たり排出量 <u>0.201 t-co₂/m²</u>

見直し後

2026年9月期目標	600億円 新店計画の前倒し実施に伴い、上方修正	2,200万人 新店計画の前倒し実施に伴い、上方修正	1,300百万円 新店計画の前倒し実施に伴い、上方修正	計画期間中 60%超 当初計画通り	0.201 t-co₂/m² 当初計画通り
-------------------	------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------	---

2. 戦略別の主な取組状況

戦略分野	課題	第70期の主な取組状況
“お客様” を笑顔に	商品力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 地域企業等とのコラボ商品の開発・・・第70期は11商品 セブンプレミアム商品の取扱い拡充・・・第70期は約100アイテムを拡充
	お客様利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> すすきの店オープン・・・2023年11月 千歳店オープン・・・2024年11月 稲田店オープン（イトーヨーカドー帯広店継承）・・・2024年9月 イトーヨーカドー札幌アリオ店継承・・・2025年春予定
	ブランドイメージの向上	<ul style="list-style-type: none"> すすきの店のオープンを機に、メディアへの発信を強化 →すすきの店を当社ブランドイメージの発信拠点に
“従業員”、 “地域”を笑顔に	労働環境改善、 人財の強化・育成	<ul style="list-style-type: none"> 研修強化・・・第70期は役職別、部門別研修を強化（第70期は20回） 女性管理職の増強・・・第70期は2人増加させたほか、女性活躍推進法に基づく開示関連計数8項目は、女性取締役数を除く7項目を改善 ベースアップ（第70期は、非管理職に対し平均6.97%のベースアップ実施）
	ESGへの取組み	<ul style="list-style-type: none"> ノーマライゼーションイベント・・・セブン&アイ・ホールディングス等と共催 食育・・・地元小学校向けに食育イベント（ファイブ・ア・デイ）開催（2回） ノウフクイベント・・・農福連携（農業+福祉）イベント開催 環境保全・・・節水設備の導入（全店）、冷ケース入替（全店舗の1割強）、一部店舗の店頭サインのLED化等
“株主” を笑顔に	収益性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 第70期は、在庫含め原価管理を徹底し、売上総利益率を改善（第69期25.2%→第70期25.6%） 第71期は、資産除去債務の見直しの影響や新店オープンなどに伴い、利益率の低下を見込む
	株主還元強化	<ul style="list-style-type: none"> 増配の実施 <ul style="list-style-type: none"> →第69期配当は、記念配当含め5円の増配を実施 →第70期の配当は、30円（当初1円増配を5円に増額）を予定 →第71期の配当は、年間36円（6円の増配）を予定 中間配当の実施 <ul style="list-style-type: none"> →第71期から、中間配当を実施予定 株主優待の改善 <ul style="list-style-type: none"> →優待内容を改善（金額規模で2倍程度に拡大予定） 自己株式の取得 <ul style="list-style-type: none"> →第70期は、119,100株を取得 →第71期は、100,000株を上限に取得予定 資本収益性・資本コストを意識した取組みとして、第70期は営業キャッシュ・フローのほぼ全額（97%）を営業規模拡大投資や株主還元等に振り向け

新たな挑戦…出店戦略



■ 札幌市中央区COCONO SUSUKINO内に「すすきの店」開店（2023年11月30日）



■ イトーヨーカドー帯広店退店後の食品売場区画への出店を発表（2024年1月）



■ イトーヨーカドーアリオ札幌店退店後の食品売場区画への出店を発表（2024年2月）



■ 帯広市稲田地区に（旧イトーヨーカドー帯広店）「稲田店」開店（2024年9月27日）



■ 千歳市北信濃地区に「千歳店」開店（2024年11月8日）

■ 札幌商圏への初出店（八軒店）から20周年（7月）

2023年
11月

2024年
1月

2024年
2月

2024年
7月

2024年
8月

2024年
9月

2024年
10月

2024年
11月

SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み



～サステナブル&ノーマライゼーションわくわく体験～開催

視覚や聴覚障がいの方々の暮らしをイベントを通し楽しみながら体験し、日常の中での障がい者の課題などの気づきや、ノーマライゼーションの意味を知ってもらうために北海道盲導犬協会、株式会社テルベの企画を実施。その他「子育て応援」として環境、食育について学ぶ場の設置、小さなお子様向けの子供縁日を開催。白石神社前店（2024年7月27日）

■ SDGs取り組みの一環として、商工中金の「インパクト預金」に協力（2024年8月）



■ ファイブ・ア・デイ…一般社団法人ファイブ・ア・デイ協会が行っている食育活動で「1日5皿分（350g）以上の野菜と200gの果物を食べましょう」をスローガンにした健康増進活動。地元の小学生を対象としたプログラムを実施。東店・音更店（2024年8月）



■ ノウフク…「農業+福祉=農福連携」。障がいのある方が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画することを実現する取り組み。「ノウフクマルシェ」開催 稲田店（2024年10月5日、6日）

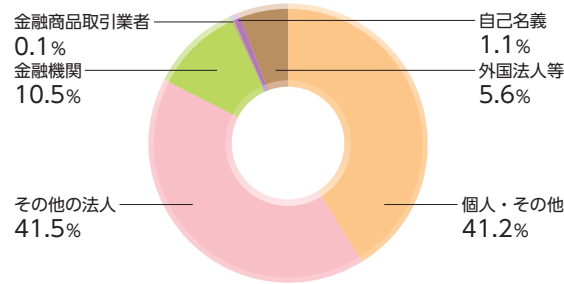
株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 24,000,000株
 発行済株式の総数 11,438,640株
 株主数 7,724名
 大株主 (上位10名)

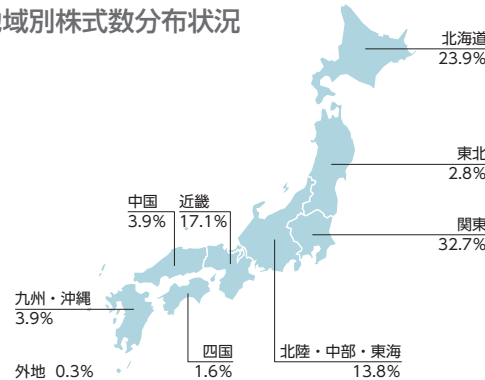
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社イトーヨーカ堂	3,432,000	30.35
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM 02 505002	471,700	4.17
ダイイチ取引先持株会	455,300	4.03
若園 清	273,700	2.42
野村信託銀行株式会社 (投信口)	221,900	1.96
株式会社北陸銀行	193,040	1.71
株式会社北洋銀行	186,000	1.64
国分北海道株式会社	164,000	1.45
小西 典子	156,220	1.38
株式会社商工組合中央金庫	126,400	1.12

(注) 持株比率は自己株式 (131,235株) を控除して計算しております。

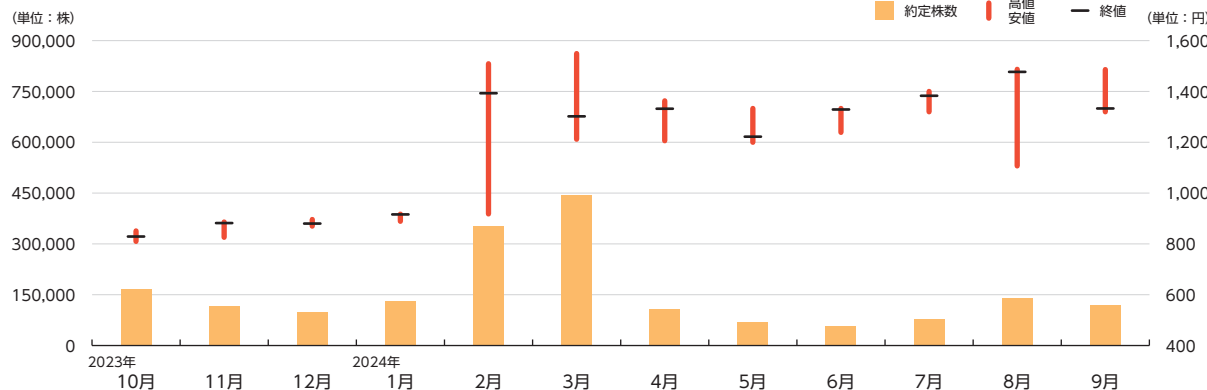
所有者別株式数分布状況



地域別株式数分布状況



株価チャート



株主の皆さまの 声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り

QRコードは株式会社アソソウェアの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を
進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp

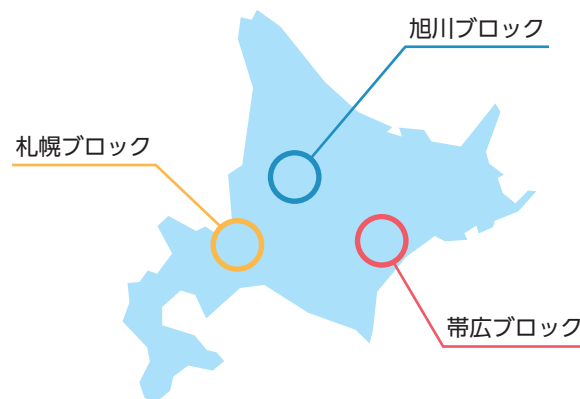
会社概要 (2024年9月30日現在)

商号	株式会社ダイイチ
本社所在地	北海道帯広市西20条南1丁目14番地47
会社設立	1958 (昭和33) 年7月11日
資本金	1,639,253千円
社員数	410人 (正社員) 1,206人 (パートナー社員等、8時間換算)
主要な事業内容	当社は、食料品主体のスーパーマーケットを展開しており、これに附帯する業務として不動産賃貸業務等を行っております。

役員 (2024年12月25日現在)

代表取締役社長	若園清
取締役	西崎進
取締役	忠石信之
取締役	北村攻
取締役	吉田直久
社外取締役	宮川明
社外取締役	井雲康晴
社外取締役	祖母井里重子
社外取締役	林美香子 (新任)
常勤監査役	長尾悦治
社外監査役	東城敬貴
社外監査役	笹井宏一

事業所一覧 (2024年12月25日現在)



帯広ブロック

東店	帯広市東4条南12丁目1
啓北店	帯広市西12条北4丁目1
めむろ店	河西郡芽室町東6条9丁目1
白樺店	帯広市白樺16条西2丁目2
みなみ野店	帯広市南の森東1丁目1
札内店	中川郡幕別町札内共栄町164-7
自衛隊前店	帯広市西18条南27丁目1-2
音更店	河東郡音更町木野大通東12丁目3-1
オーケー店	河東郡音更町木野大通西17丁目1-4
稲田店	帯広市稲田町南8線西10-1
[センター]	
惣菜センター	帯広市西20条南1丁目14-46
帯広配送センター	帯広市西20条南1丁目14-47

本社 (営業本部 管理本部)

北海道帯広市西20条南1丁目14-47

旭川本部

北海道旭川市末広1条7丁目265 2F

札幌本部

北海道札幌市西区発寒16条14丁目2-5

旭川ブロック

西店	旭川市2条通4丁目134
東光店	旭川市東光12条6丁目203
末広店	旭川市末広1条7丁目265
東旭川店	旭川市東旭川北1条1丁目3-37
旭町店	旭川市旭町1条7丁目2631
二条通店	旭川市2条通23丁目110-1
花咲店	旭川市春光1条8丁目1-77
[センター]	
旭川配送センター	旭川市流通団地2条3丁目15

札幌ブロック

八軒店	札幌市西区八軒10条東5丁目2
白石神社前店	札幌市白石区本通13丁目北3-39
発寒中央駅前店	札幌市西区発寒10条3丁目1-11
清田店	札幌市清田区清田2条3丁目181-1
恵み野店	恵庭市恵み野里美2丁目15
平岸店	札幌市豊平区平岸1条12丁目1-35
すすきの店	札幌市中央区南4条西4丁目1-1 COCONO SUSUKINO B2F

千歳店 千歳市北信濃867-1

(注) 2024年11月8日に千歳店を出店いたしました。

株主優待のお知らせ

2024年9月期の株主優待は下記のとおりです。

■1,000株未満保有の株主の皆様へは年次報告書（本誌）に同封しております。

所有株式数	VJAギフトカード	所有株式数	VJAギフトカード
100～499株	 1,000円分	500～999株	 2,000円分

■1,000株以上保有の株主の皆様は選択制となりますので、2025年1月31日までに同封されたお申込み書のはがきをご返送ください。

お申込み書のはがきに必要事項をご記入いただき、プライバシー保護シールを貼ってポストへご投函ください。

所有株式数	A VJAギフトカード						B 当社商品券	C 六花亭お菓子 詰め合わせ	D グリーンアスパラ 2L 1.5kg	E 十勝川西長いも 5kg	F メロン (夫婦メロン) 2玉	G 北海道旬の味覚 (農産物セット)	
	1,000株以上	 4,000円分	or	 4,000円分	or	 詰め合わせ	or		or		or		or
商品の発送	いづれかひとつお選びいただけます。						2月初旬	2月初旬	2月下旬	収穫時季の 5月下旬～6月初旬	収穫時季の 6月下旬～7月初旬	収穫時季の 7月下旬	収穫時季の10月中

希望申込受付期間
お申込みがない場合

2025年1月31日到着分まで

- ①店舗のある地域（十勝総合振興局管内、上川総合振興局管内、石狩振興局管内）の株主様に対し、当社商品券を贈呈します。
- ②店舗のない地域の株主様に対し、北海道特産品メロン2玉を贈呈します。

個人情報について

注 意 事 項

※C 詰め合わせ内容が変更になる場合があります。

※G 農産物セットの内容（メークインL、男爵L、玉ねぎL～L大、かぼちゃ1玉）

いただいた個人情報は、この優待商品のお届けのみに利用させていただきます。

ご希望の時間にお届けできない場合がありますので、ご了承ください。

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年12月
単元株式数	100株
株主名簿管理人・ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

【株式に関するお手続きについて】

株式に関するお手続き（住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求等）につきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。

特別口座（※）に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場 証券会員制法人札幌証券取引所
証券コード	7643
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.daiichi-d.co.jp/IR/ir/account.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

※ 特別口座とは、株券電子化施行までに証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主等の権利を保全するために開設した口座のことです。法令に従い、名義人名で三菱UFJ信託銀行に開設した特別口座に記載されています。配当金は受け取れますが、株式の売買はできません。証券口座への振替が必要となりますので、上記連絡先にお問い合わせください。

【少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて】

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

期末配当金のお支払いについて

第70期の期末配当金は、2024年12月25日開催の定時株主総会にて承認されましたので、1株につき30円を次の方法によりお支払いいたします。

- 銀行口座への振込をご指定の株主様
同封の「第70期期末配当金計算書」のとおり「[配当金振込先ご確認]のご案内」に記載の口座へお振込いたしましたので、ご確認ください。
- 振込をご指定されていない株主様
第70期期末配当金の「期末配当金計算書」とともに「期末配当金領収証」を同封しております。銀行払い渡し期間（2024年12月26日～2025年1月27日）に、**最寄りのゆうちょ銀行の本支店及び出張所並びに郵便局でお受け取りください。**
- 証券口座でお受け取り（株式数比例配分方式）の株主様
お取引のある証券会社へご確認願います。



TEL 0155-38-3456 (代表)

FAX 0155-38-3434

<https://www.daiichi-d.co.jp/>

本誌に関するお問い合わせは、企画IR部までお願いいたします。

